

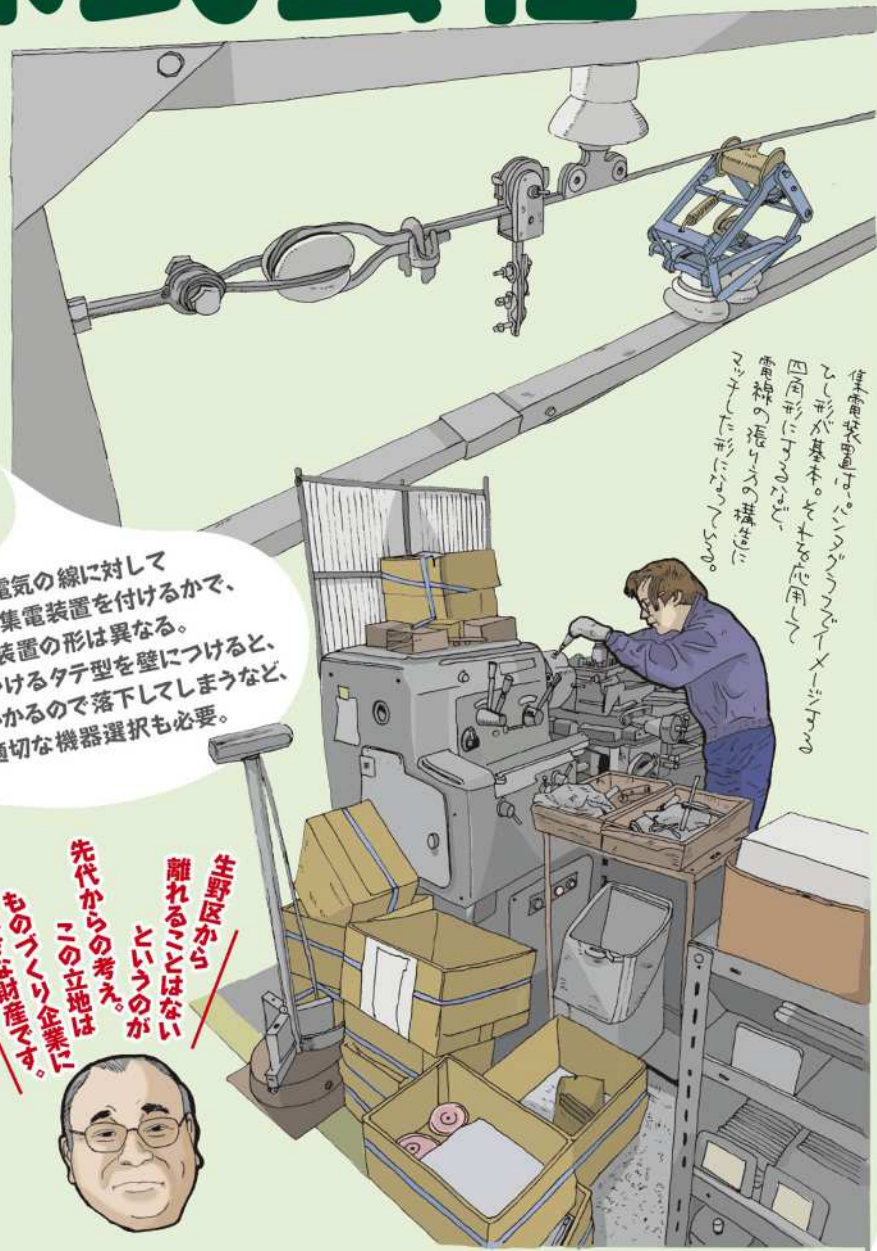
朝日バグナル株式会社

代表取締役社長
治良 輝男さん

日本の鉄鋼メーカーを支えてきた
集電装置を作つて、
100年の歴史を誇る

創業当時は、トロック電車やアミューズメント施設の列車、石炭運搬用のトロックなどの集電装置を作っていました。トロリーという架線から電力を得る滑車やパンタグラフなどを製造。集電装置と聞けば電車関連が大きな市場でしたが、重厚長大の成長期で、我々も鉄鋼業界へと転換。鉄鋼の製造現場で使用されるクレーンにも集電装置は必要。すでに海外では、電車以外のパンタグラフが製造されていたのでそれを参考に、国内のニーズに合うものを開発。特許出願も行いました。

当社の製品は、40年、50年たっても壊れないという信頼を集めている自負があります。工場内のクレーン用パンタグラフの交換修理を依頼されましたが、もともとは当社が50年前に製造したものの。電気が使えなくなるとは製造現場はストップしてしまいますから、メンテナンスは必要ですが壊れない、ということが何より重要。現場ごとに設置場所や環境下は異なり、装置サイズや重量、形などこれまで培ってきたノウハウがあるからこそ、お客様が信頼して当社製品を使っていると思います。



電気の線に対してどこに集電装置を付けるかで、装置の形は異なる。天井につけるタテ型を壁につけると、重力がかかるので落下してしまうなど、適切な機器選択も必要。

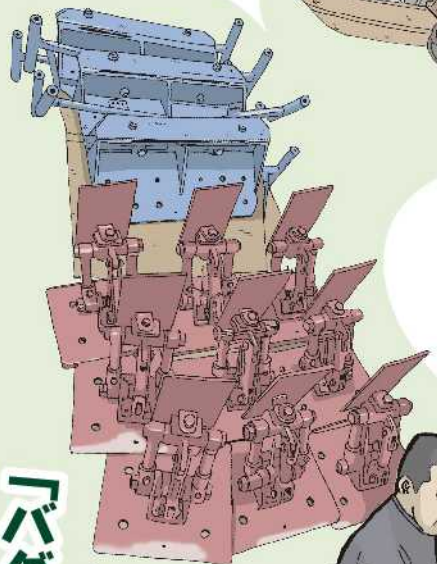
生野区から離れることはないというのが先代からの考え。この立地はこの立地はものづくり企業にとって大きな財産です。



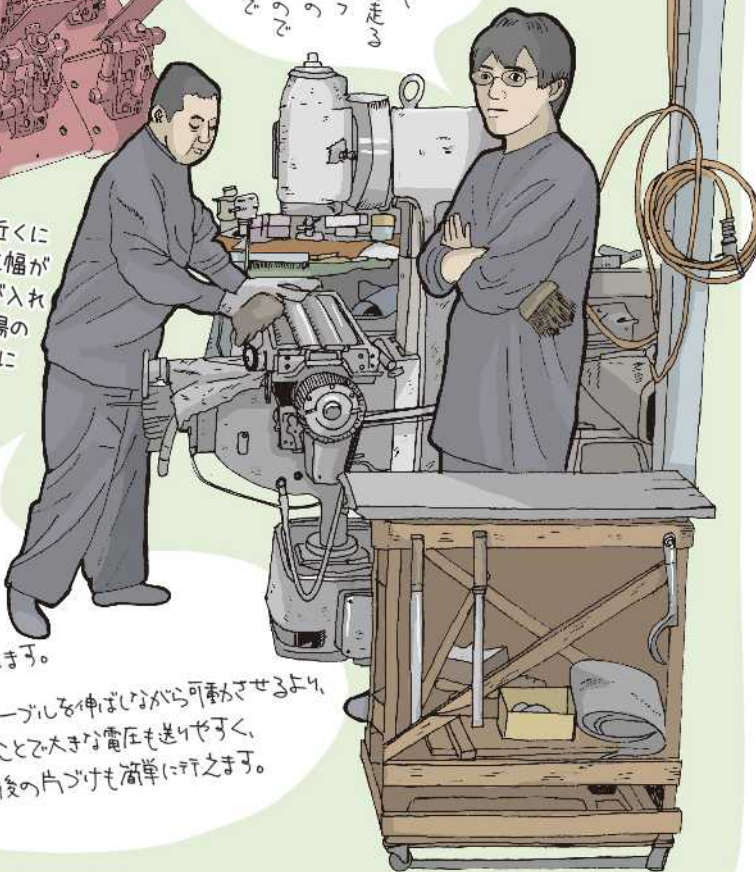
生野区から離れることはないというのが先代からの考え。この立地はこの立地はものづくり企業にとって大きな財産です。



うちの製品は、
40年、50年使っても
壊れない。



トローリー線
の「イヤール」は
各種の電圧に
対応して、
作業終了後の
片づけも簡単
に行います。



もともとは鶴橋近くに
本社があったが道幅が
狭く輸送用の車が入れ
ないため、第2工場の
あった現在の場所に
移転しました。

「イヤール」の
足の引き出しに
使用するモーターにも
うちのパンタグラフが
使用されています。
大きな敷地で長いケーブルを伸ばしながら移動させるより、
集電装置を使うことで大きな電圧も送りやすく、
作業終了後の片づけも簡単に行います。

我が社の 自慢

朝日バグナルは、もともと朝日
電気製作所と言う会社で、関連
会社に舞台照明専門のバグナル
株式会社をもっていた。バグナル
はその会社に関わったアメリ
カ人の名前。かつて、日生劇
場や歌舞伎座などメジャーな
劇場にもバグナルの照明が使用
されていたとか。舞台照明事業
は辞めているが、バグナルの名
前は残そうと、現在の社名に
なったそう。

「バグナル」は舞台照明に携わる
アメリカ人の名前！

鉄鋼メーカーの製造を支える 集電装置のパイオニア

創業は大正7年で、2018年に創業100年を迎える歴史ある企業。
同社は集電装置、つまり電流の流れる線から電気をとりいれる機器を
製造する。国内におけるシェアは約60%と、集電装置のトップ企業だ。

集電装置で有名なのは電車のパンタグラフで、電車に限らず輸
送や移動において電気が必要な場所で、電気を流れやすく負荷が
かからないようにするために集電装置が必要になる。同社は、鉄鋼
製造の工場に必要なクレーンやキャリーなどを動かすための集電装
置に強い。鉄鋼をつくる鉄鉱石を船から積み下ろしたり、鉄鉱石や
燃焼のためのコークスの運搬や高炉への装入など、鉄鋼工場ひと
つとっても、さまざまな場面でクレーンが使われ、そのクレーンを動
かすために集電装置が使われる。

装置を設置する工場のある場所や工場内の環境によっても、装
置の形状や必要な機能が異なる。ガスや酸を使う場所では、鉄製
は錆びるため使用できない。海辺にある工場なども、錆びやすい。
熱や粉塵の多い工場でも集電装置は必要になる。工場によって、
電線が壁に沿っている場合は、集電装置も壁に取り付けるが、人の
往来など安全面への配慮も必要になる。ほぼ同じ環境での設置は
なく、それぞれに合った装置をオーダーで製造。オーダーメイドだから、
経年劣化による交換時もまた、同社に声がかかる。

このように、鉄鋼業界での集電装置は求められる条件が高いうえ
に、高炉停止につながるような故障は許されない。その期待に応え続
けてきた品質の高さから、造船業など取引業界は広がっている。さら
に、集電装置を設置するための器具も製造。集電装置をトローリー線
に吊り下げる「イヤール」と呼ばれる支持金具、天井や壁などに電流がも
れないよう絶縁しながらトローリー線を支える碍子(がいし)など。電線
の張り方や場所、集電装置の位置や形状にあった器具をそろえる。

“電気を自由自在に”操れる機器は、日本のものづくりを支える緑
の下の力持ちだ。

朝日バグナル株式会社

http://asahi-bagnall.jp/
〒544-0012 大阪市生野区巽西2-4-9
TEL 06-6757-4008 FAX 06-6757-4113

事業内容／起重機、新交通システム産業機械用各種集電装置／
省力化自動車用集電装置およびケーブルキャリアー／クレーン
ラブペアー移動機器／特殊電気絶縁物、電気部品架線金物一式、
その他科学機器、電気機器、工具等設計製造販売